

環翠堂小集

027
73
2

其夢太遠のあふく傍きて
徳和路の隈(岸) 守(守)
あふく日毎

序



晩 夜 の 影 を か き か け て	夕 陽 を か き か け て	返 り 車 乃 先 を い ひ り	終 の 羽 を け る 朝 の 打 鼓	柳 く ま あ の 人 の 心 を 照 す
極 手	葉 若	半 解	止 足	五 息

行くついで後組おすまのり
 翠川
 おとそぬ方さるもすまのり
 観音
 引かすくおすの衣のまゝ
 幸平
 深古をすく杉のむら
 杉山
 考すまの送のけし通る
 権己
 栄標まゝ
 駕り
 平少外え
 事

鼻をふし不待り月ためて
 葉
 とはくさくさいさく
 四五百
 喘
 いさささま徳の業の秋葉
 碑
 涼切はくす
 乃
 友
 足
 ぬさくひと登り
 寺と
 中
 泉
 さくさく
 さくさく
 さくさく
 川

新ふくし 小舟は 檣の ちり 船
 描き ちり の ちり 住 馴れ ちり 中
 ぶ ね の 漕 ちり ちり ぬい せ ちり 山
 ちり ちり ちり の 枯 ちり ちり 己
 舟 ちり ちり ぬい ちり の 泥 ちり ちり ちり
 ちり の ちり ちり ちり ちり ちり ちり ちり

優 俊 塞 の 下 野 の 足 ちり ちり ちり
 石 ちり ちり ちり 文 章 の 流 ちり ちり ちり
 か ちり ちり ちり の ちり ちり ちり ちり ちり ちり
 ちり ちり ちり ちり ちり ちり ちり ちり ちり ちり
 ちり ちり ちり 馬 の 鳴 ちり ちり 木 橋 ちり ちり ちり
 ちり ちり ちり の ちり ちり ちり ちり ちり ちり ちり

望をくはす松の角や〜
 中
 内川や〜も汐ひつ〜
 山
 数撃の〜し延〜如月也
 己
 又うり〜人の多き橋の巢
 中
 秋花工鳥絨さ〜の松ま〜
 暮
 阿曇〜は新文巻の松
 喘

各詠探題

秋風

秋〜お首の〜も吹〜
 控己

茶

秋〜お首の〜も吹〜
 暮中

秋

夕涼み 夕涼み 夕涼み 夕涼み 夕涼み 夕涼み 夕涼み 夕涼み 夕涼み 夕涼み

晴

晴 夕涼み 夕涼み 夕涼み 夕涼み 夕涼み 夕涼み 夕涼み 夕涼み 夕涼み

栗

栗 拾ふ 拾ふ 拾ふ 拾ふ 拾ふ 拾ふ 拾ふ 拾ふ 拾ふ 拾ふ

四

碓

碓 碓 碓 碓 碓 碓 碓 碓 碓 碓

末枯

末枯 末枯 末枯 末枯 末枯 末枯 末枯 末枯 末枯 末枯

新海

新海 新海 新海 新海 新海 新海 新海 新海 新海 新海

魚をとりぬきかへるゝの葉か
大徳

序

丁未くや法之海に果ぬ海之宮
翠川

暮秋

川秋を遠くけり又むゆ海山
半信



文政 癸未九月 四五百杜喰徒



